

ミガロ. テクニカルセミナー

【セッションNo. 1】

Delphi/400開発ノウハウお教えします Delphi/400による『帳票』開発ノウハウ公開 &システム開発事例紹介

株式会社ミガロ. システム事業部 システム3課 **尾崎 浩司**

ミガロ. テクニカルセミナー

【アジェンダ】

『帳票』開発ノウハウ公開

1)「RaveReports」による帳票開発手法 2) PDF出力技法 3) 将来を見越した帳票開発

システム開発事例紹介 4)AS/400スプールとの連携 5)ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作



Delphi/400による 『帳票』開発ノウハウ公開

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー

■Delphi/400による帳票開発

● 『帳票』開発どうしていますか?

● Delphi/400ユーザー ⇒ IBM I(AS/400)ユーザー

● IBM I(AS/400)を使用

⇒ プリントファイルを使用



●『QuickReport』を使用

⇒ V5 ~ V7の頃は、主流 V2005以降はバンドル無し

※ V2006、V2007の場合、エンバカデロよりを追加 モジュールとしてダウンロード可能

🤰 顧客名簿[DCP080]							
	2 3	4	5	6 7	8	:::::: 9	10 11	12 13
<i>f∞ f∞</i> <u>AS400</u> AS400 1 [DCP080	Ľ							
2	顧客名簿					-		
Page Header	企業名							役職/氏
gri SĘ Detail	₩N1CP ₩N2CP						 - l	; ₩NMYK; ; ₩NMCC
• • • • • • • • • • • •								

ミガロ. テクニカルセミナー

■Delphi/400による帳票開発

- 現在のDelphi/400標準レポートツールは『RaveReports』
 - Ver.7 よりDelphiにバンドル

● Delphiコンポーネント群 + レポートデザイナ で構成



ミガロ、テクニカルセミナー

■RaveReports特徴

RaveReportsとQuickReportとの違い

	Rave Reports	Quick Report
帳票設計	<mark>デザイナにて作成</mark> Delphiツールメニューより呼出可能	Delphiフォームとして作成 フォーム上にQRReportコンポーネントを配置
帳票ファイル	レポートファイルを使用 RaveReportsファイル(拡張子rav)が生成	Exeファイルにレポートが含有 実行プログラムに含まれる
データセット	利用可能 データセットをデザイナ上で関連付けるこ とが可能	利用可能 データセットコンポーネントと関連付けされる 印字コンポーネントが使用可能
プログラムから の制御	<mark>可能</mark> 関連付けたレポートをDelphi言語から制 御可能	可能 帳票フォームを生成し、印刷メソッドを実行
その他	30,000件データの一覧リスト プレビュー 約10秒	30,000件データの一覧リスト プレビュー 約15秒

ミガロ. テクニカルセミナ-

■RaveReports特徴

- Delphiソースコードで制御ができる。
- DataSetを帳票に指定できる。
- レポートファイルが分離されたため、帳票レイアウト 変更がDelphiプログラムに影響しない。
- 複数のレポートをひとつのレポートファイルで管理が可能。
- QuickReportに比べ出力速度が速い。(調査比150%)

● 日本語環境での問題

- 通常の帳票出力は、日本語使用可能
- PDF出力機能は、日本語使用不可
- レポートデザイナ画面は、英語環境のみ

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports開発手順

- RaveReports作成の流れ
 - TRVProjectコンポーネントの 貼り付け
 - ② RaveReportsデザイナを起動
 - → [𝒴−ν] ⇒ [RaveReportsDesigner])
 - ③ レポートの設計、保存 → レポートファイル生成
 - ④ RvReportコンポーネントに レポートファイル関連付け
 - → ProjectFileプロパティ
 - ⑤ 出カロジック追加
 - → SelectReportプロパティ
 - → Executeメソッド



■RaveReports 最初の一歩 概念図 3) 帳票ファイルとの紐付け **RVProject** ⇒ Project1.rav Report1のパラメータを定義 1) Title RAVE Summary 4) ロジック作成 Report1 Title 1. レポート選択(SelectReport) Summary 2. パラメータへ値セット (SetParam) 3. 印刷実行(Execute) Project1.rav 2) パラメータと項目と を紐付け

■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports 最初の一歩

• 画面設計

- Standardページ
 - Labelコンポーネント
 - Editコンポーネント
 - Memoコンポーネント
 - Buttonコンポーネント
- Raveページ
 - RVProjectコンポーネント

- デザイナの起動
 - [ツール] →
 [RaveReportsDesigner]



ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports 最初の一歩



フォント名(E)

MS ゴシック

中 MSゴシ In MS 明朝

O MV Boli

O NSimSun OCRB

🖣 PMingLiU 文字師り

□ 下線(U)

色(<u>C</u>):

黒

Ф ОСКВ Q Palatino Linotype

取り消し線(K)

- Standardページ
 - Textコンポーネント
- Reportページ

スタイル(Y)

標準 斜体 太字 太字 斜体

サンブル

文字セット(R)

日本語

標準

- DataTextコンポーネント
- DataMemoコンポーネント

サイズ(S)

14

Aaあぁアァ亜宇



ミガロ、テクニカルセミナー

■RaveReports 最初の一歩

● 帳票パラメータ設定

● Report1選択

Parameters
 プロパティ

シガヘ	🌮 Rave Reports 7 - Project1.rav		
_	<u>File Z</u> oom <u>E</u> dit <u>T</u> ools <u>H</u> elp		
eters	👂 🖻 🖪 🖷 🗐 🗃 🗎	Drawing Bar Code Standard Report Zoom Colors Lines Fills Fonts Alignment	
ティ		📐 T 🖬 🗴 🖬 🗉 🚥 🔜 🤯 😵 🗲 🏵	
	Report1: Report component	Pue Deviner Event Editor	🔗 RaveProject
	AlwaysGenera False		Report Library
	Category	Page1	🛁 🗸 🛅 Report1 🌙
	Collate pcDefault	-20 0 20 40 60 80 100 120 140	Clobal Page Catalog
	Copies 0		🛶 🔷 Data View Dictionary
	Description		
	DevLocked False		
	Duplex pdDefault		
	FirstPage Page1		
	FullName Report1		
	Locked False		
	MaxPages 0		
	Name Report1	Strings Editor	X
	Pagelist		
	Parameters	2 lines	
	Pivars		
	Printer	タイトル [Da Title	
	Resolution prDefault	Summary	
	SecurityContro		
	Tag O		
	Visible True	[D	
Dolph	コログニノかこ	マクトフォス	~
Deipii	コノロン ノムから		
	バラメータタを	- 指定	
			Cancel
	Title / Summ		
	nue / Summ		

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports 最初の一歩

- 帳票パラメータ設定
 - DataTextコンポーネント選択
 - DataFieldプロパティ

1. リストよりパラメータを選択 2. 「Insert Parameter」ボタン押下





100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ、テクニカルセミナー

■RaveReports 最初の一歩



■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

■RaveReports DataSetを使用した帳票

DataSetと連動した帳票出力が可能



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports DataSet帳票

概念図

2) DataSetのフィールド情報を DataViewに登録 3) DataView上のフィールド 1) データセットを指定 を項目に設定 SQL **DataView** RAVE Report1 Field1 Field2 . . . **RvDataSetConnection** データセットとレポートとの関連付け Project1.rav

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports DataSet帳票



MIG



RvDataSetConnectionコンポーネント



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ、テクニカルセミナー

データセット項目が Data View Dictionary に登録

■RaveReports DataSet帳票

● 帳票設計

● New Data Objectメニュー



■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports DataSet帳票

● 帳票設計

- ▶ Report Wizardメニュー
 - → Simple Tableウィザードを指定



■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

■RaveReports DataSet帳票

● Delphi側設定



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー



else RvSystem1.DefaultDest := rdPrinter; // 印刷

テクニカルセミナー

3) 出力先をDefualtDestにて指定

実行

概要 プレビューを表示 帳票指示画面を出力せず 印刷区分 ⊙プレビュー 実行 タイトル ○印刷 (プレビュー表示) 印刷

印刷

テクニカルセミナー

🔞 Rave Reports 応用1

タイトル

100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

end:

🛞 印刷ブレビュー <u>File Page Z</u>oom

ミガロ、テクニカルセミナー



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー



┃ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー





■PDF出力

PDFファイルを生成する手法

- PDFプリンタドライバを使用
 - RaveReportsやQuickReportから印刷する際に、PDF出力を選択
 - AdobeAcrobat
 - PrimoPDF(<mark>無償</mark>)
 - PDFCreator (無償) オープンソース http://sourceforge.jp/projects/pdfcreator/
- PDF作成コンポーネントを使用
 - RaveReportsよりPDF出力可能だが、日本語が使用不可
 - PDF専用レポートコンポーネントである「PowerPDF」を使用することで対応可能

	Ver2009 の場合 I	PowerPDF0.9.1日本語版	771		
	http://mam.dnsalias.net/download				
	/delphi_powerpdf.html				
•	~Ver2007の場合	PowerPDF0.9			

http://www.est.hi-ho.ne.jp /takeshi_kanno/powerpdf/

Bat	chPdf.pdf - Adob	e Reade	er			
111	(E) 編集(E) 表示(⊻) 文書	◎ ツール① ウィンドウ◎ ·	ヘルプ(日)		×
3	🕹 - 🎼	1 - C	1 / 2 💿 🖲 78.69	% ▼ 📑 🔮 検索]•	
1		Cust	omer.DB		2001/09/15	
		NO.	Company	Address	Phone	
		1221	Kauai Dive Shoppe	HI Kapaa Kauai4-976 Sugarloaf Hwy	94992-2-4564	
		1231	Unisco	FreeportPO Box Z-547	93-3317-4786	
		1351	Sight Diver	Kato Paphos1 Neptune Lane	99808-2-0156	







ミガロ. テクニカルセミナー

■PDF出力手法の比較

専用コンポーネントとプリンタドライバーとの違い

	専用コンポーネント(PowerPDF)	プリンタードライバー (PDFCreator)
開発手法	PowerPDFコンポーネント使用 PDF用の追加プログラムを作成	既存の帳票プログラムを使用 帳票は、紙出力のものと同じものを使用
環境	AdobeReaderのみが必要 閲覧用ソフトのみで使用可能	出力用プログラムが別途必要 クライアント端末に事前に設定が必要
プログラムから の制御	可能 出力ファイル名、出力先等Delphiプログラ ムにより指定可能	不可 出力先は、都度ユーザーが指定。 (ドライバ設定により出力先固定化は可能)
	・システムから明示的にPDF作成処理が 作成できる ・専用帳票作成工数が別途必要	・ユーザー指定によるPDF作成処理となる。 ・既存帳票はそのまま使用可能

ミガロ. テクニカルセミナー

■PowerPDF 開発手順

PowerPDF作成の流れ

- 1. 帳票出力フォームにPowerPDFコンポーネントの貼り付け
 - → PReportコンポーネント
- 2. 帳票設計
 - → PRPage、PRText等
- 3. 出力ロジック追加
 - → BeginDocメソッド
 - → FileNameプロパティ
 - → Printメソッド
 - → EndDocメソッド





100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー

帳票レイアウトフォーム

■PowerPDF 開発手順

• 画面設計

- プロジェクトに帳票用
 フォーム追加
 - PDFReptFrm.pas
- Standardページ
 - Labelコンポーネント
 - Editコンポーネント
 - Memoコンポーネント
 - Buttonコンポーネント



ミガロ、テクニカルセミナー





 34

ミガロ. テクニカルセミナー



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ、テクニカルセミナー

■PowerPDF 開発手順



● 出力指示画面プログラム

uses PDFReptFrm; // PDFフォーム

{\$R *.dfm}

try

procedure TfrmSample.Button1Click(Sender: TObject);
begin

```
// 保存ダイアログを表示
```

if not SaveDialog1.Execute then Exit;

frmPDFPrpt := TfrmPDFPrpt.Create(Self);

//レポート作成 with frmPDFPrpt do begin // データをセット **PRText1.Text** := Edit1.Text: **PRText2.Text** := Memo1.Text: // PDF出力 PReport1.FileName:=SaveDialog1.FileName; PReport1.BeginDoc; PReport1.Print(PRPage1); PReport1.EndDoc: end: finally frmPDFPrpt.Release; end:

end:

■PowerPDF 開発手順 🔁 TestPDF.pdf - Adobe Reader ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 文書(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 📄 🔬 = 🌄 🔶 🔶 1 / 1 💿 🖲 93.8% = 拱 🙀 1000 ● 実行 👰 PDF出力サンナル テクニカルセミナー タイトル タイトル テクニカルセミナー 概要 第6回テクニカルセミナーが実施されます。 第6回テクニカルセミナーが実施されます。 奮ってご参加ください。 概要 奮ってご参加ください。 PDF出力 븝 マイ ドキュメント ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入()(A) ツール(T) ヘルプ(H) **?**× 名前を付けて保存 🔇 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検索 フォルダ 🚺 🕶 保存する場所の: 🦲 マイドキュメント 🔽 🔇 🤌 📂 🔝-🛅 IBM アドレス(①) 🖰 マイ ドキュメント 🗸 🔁 移動 3 RAD Studio 最近使ったファイル 🚞 TeamSource ファイルとフォルダのタスク * 👝 Visual Studio 2005 PDFファイルが生成 🤭 新しいフォルダを作成する 📆 マイ ビデオ デスクトップ 🔕 このフォルダを Web に公開する 🚵 マイ ミュージック 🔁 このフォルダを共有する マイドキュメント その他 * マイ ピクチャ マイ ビデオ マイコンピュータ 🕝 デスクトップ 🛅 共有ドキュメント Default.rdp マイ ミュージック **(**) リモート 2 KB 、クトップ接続 🥥 קר בטצב-א マイネットワーク ファイル名(N): TestPDF.pdf 保存(S) 👰 マイ ネットワーク TestPDF.pdf PDF Adobe Acrobat Document 3 KB ファイルの種類(T): キャンセル PDF77イル Adobe

詳約

■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

37

ミガロ. テクニカルセ<u>ミナー</u>

ミガロ. テクニカルセミナー

■Excel出力

Excelファイルを生成する手法

- OLEによる出力
 - クライアント端末にExcelが必須
 - TExcelApplication
 - TExcelWorkBook
 - TExcelWorkSheet
- VB-Report (有償ツール)
 - エクセルをテンプレートとした 帳票出カツール
 - Delphiから操作するため のコンポーネント有 (V5~V2010対応)
 - クライアント端末は、Excel不要

※ VB-Report (ActiveX版) アドバンスソフトウェア

 $http://www.adv.co.jp/products/product_VB-Report3.htm$





ミガロ. テクニカルセミナ-

■将来を見越した帳票開発

- 帳票開発手法の変更
 - 現在QuickReportを使用
 - ⇒ Delphiを最新版に変更する場合、QuickReport製品版にアップグレードするか、 RaveReportsに変更する必要あり。
 - 現在の紙ベースの帳票を電子データに変更したい

⇒ RaveReoprts/QuickReportの帳票をPowerPDFやVB-Reportに変更する必要あり。

● 帳票出力手法の変更による改修範囲を小さくする工夫

⇒ **画面プログラムと帳票出力プログラムとを分離**するように留意する

ミガロ. テクニカルセミナー

■将来を見越した帳票開発

● 画面プログラムに直接帳票ロジックを埋め込むと...

RaveReportsの場合、(P.12参照) PowerPDFの場合、(P.36参照) procedure TfrmSample.Button1Click(Sender: TObject); procedure TfrmSample.Button1Click(Sender: TObject); begin begin // 保存ダイアログを表示 with RvProject1 do if not SaveDialog1.Execute then Exit: begin // Raveプロジェクトを開く frmPDFPrpt := TfrmPDFPrpt.Create(Self); Open; try try // レポートの選択 //レポート作成 SelectReport('Report1', True); with frmPDFPrpt do // 値のセット hagin 開発手法を変更するたびに、画面プログラム SetParam('Title', E のロジックも大きく変更しなければいけない SetParam('Summa . . .

ミガロ. テクニカルセミナー

■将来を見越した帳票開発

考え方

- ・帳票呼出ユニットを作成
 - 帳票呼出に必要なパラメータを受け渡しするプロパティ、帳票印刷するメソッドを作成
 - 帳票プログラムと連動した出力ロジックを記述
- 画面プログラムは、帳票呼出ユニットのプロパティ、メソッドにアクセス
 - 帳票呼出ユニットの仕様が変更されても<u>画面プログラムには影響しない</u>



ミガロ. テクニカルセミナー



実装部

procedure TdmReptModule.ReportPrint; begin with RvProject1 do begin // Raveプロジェクトを開く Open; trv // レポートの選択 SelectReport('Report1', True); // 値のセット SetParam('Title', FTitle): SetParam('Summary', FSummary); // 実行 Execute: finally // Raveプロジェクトを閉じる Close; end; end: RaveReportsによる印刷ロジック end:

ミガロ. テクニカルセミナー



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

🖓 ProjSample1.dproj - プロジェクトマネ... 👎 🗙

■帳票呼出ユニット仕様変更手順

- RaveReportsからPowerPDFに仕様変更
 - RaveReportsで使用するコンポーネントを削除
 - RVProjectコンポーネント削除
 - PowerPDFに必要なコンポーネントを追加
 - SaveDialogコンポーネント追加
 - PDF帳票プログラム (PDFReptFrm.pas)追加
 - 印刷ロジック修正



■帳票呼出ユニット仕様変更結果

● ソースコードの変更

● 帳票呼出ユニット変更

ReportPrintメソッドのみ改修

PowerPDFによる出力ロジック

procedure TdmReptModule.ReportPrint;

begin

```
// 保存ダイアログを表示
```

if not SaveDialog1.Execute then Exit;

```
frmPDFPrpt := TfrmPDFPrpt.Create(Self);
.
```

try

// レポート作成

with frmPDFPrpt do

begin

// データをセット PRText1.Text := FTitle; PRText2.Text := FSummary; // PDF出力 PReport1.FileName:=SaveDialog1.FileName; PReport1.BeginDoc;

ミガロ. テクニカルセミナー

PReport1.Print(PRPage1); PReport1.EndDoc; end; finally frmPDFPrpt.Release; end;

ミガロ. テクニカルセミナー

■仕様変更結果

● 画面プログラム	画面プログラム修正なし! uses ReportUnit;
🍃 レポートと帳票との分離サンプル 📃 🗆 🔀	{\$R *.dfm]
タイトル: Edit1	procedure TfrmSample.Button1Click er: TObject);
- 概要 Memo1	begin //帳票出力処理 //パラメータの指定 dmReptModule.Title := Edit1.Text;
	dmReptModule. Summary := Memo1.Text; //印刷実行 dmReptModule. ReportPrint ; e nd ;
	・、PDFファイルが出力

ミガロ、テクニカルセミナー

■帳票開発指針

● 帳票出カツールの選択基準

- 標準ツールである"RaveReports"で対応可能か検討
 - リスト帳票であれば、データセットと連携可能な"RaveReports"が最適
 - 単票形式などであれば、"Excel出力"や"VB-Report"も有効な選択肢
- PDF出力をシステム的に行う場合、"PDFCreator"の使用が有用
 - Delphiより直接PDF生成が可能
- "QuickReport"を既に利用の場合、製品版(Pro版)へのアップグレード か"RaveReports"への変更を検討
 - "RaveReports"は、"QuickReport"同様DataSetを使用可能
 - 帳票出力のパフォーマンス向上

● 帳票プログラム開発指針

- 画面プログラムと帳票プログラムとの分離を検討
 - 出力手法の変更が必要になった場合、画面プログラムに影響を及ぼさないことが可能 (耐性の強いプログラムとなる)
 - 帳票プログラムの汎用化が可能
 (いろいろな画面から同じ帳票が汎用的に呼び出せる)

システム開発事例 紹介

ミガロ. テクニカルセミナー

ミガロ. テクニカルセミナー

■AS/400スプールとの連携

- 案件概要 (自動FAX送信システム)
 - ホスト(AS/400)を使用したFAX自動送信システムを使用しているが、送信エラーとなったものを簡単にチェックできないか?
 - ⇒ AS/400のAPIと連携することにより簡単にスプールの情報を 取り出せる照会画面をDelphiで構築

⇒ ステータスの変更を可能にすることで直接FAX再送が可能に。



ミガロ. テクニカルセミナー

■AS/400スプールとの連携

● 開発事例紹介

MIG



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

■AS/400スプールとの連携

- 開発手法
 - ホスト(AS/400)を使用せずにスプールの再処理ができないか

- AS/400のAPIを使用することで、スプール内容をDB化
- CLを連動することにより、スプール状況の変更を可能に



ミガロ. テクニカルセミナー

■AS/400スプールとの連携

● Delphi使用のメリット

- ホストにログオンせずとも状況把握が可能
- 常駐プログラムとすることで、即時に状況確認が可能
- Delphi帳票プログラムとして、リスト出力が可能



● 活用事例

- スプールエラー時の自動メール配信
- スプールのファイル化することによる履歴管理

ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作

- 案件概要 (受発注システム)
 - 別システムで作成した見積エクセルファイルを使用しているが、
 受発注システムに容易に連携できないか?
 - ⇒ OLE処理によりエクセルから情報取得を可能に

⇒ ドラッグ&ドロップによる直感的操作にて簡便なシステムを構築



ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

54

ミガロ. テクニカルセミナー

- ■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作
 - 開発手法
 - 見積書のエクセルを使って、受注入力の省力化はできないか?

- OLEを使用することで、エクセルデータをプログラムで使用
- DragAcceptFiles手続きおよびWM_DROPFILESメッセージによる ドロップ処理の実現



ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作 ● サンプルプログラムの作成



100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作 ● サンプルプログラムの作成

type	
TForm1 = class (TForm)	
pnlTop: TPanel;	
lblTitle: TLabel;	<pre>procedure TForm1.FormCreate(Sender: TObject);</pre>
sgList: TStringGrid;	begin
pnlBottom: TPanel;	(//ドロップをメッセージ可能にする
bbtnClose: TBitBtn;	DragAcceptFiles(Handle, True);
procedure FormCreate(Sender: TObject);	end;
private	
{ Private 宣言 }	ドロップメッセージを
procedure WMDropFiles(var msg: TWMDropFiles);	使用可能にする
message WM_DROPFILES;	
public	
{ Public 宣言 }	
end;	
	3
メッセージ	

ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作 ● サンプルプログラムの作成

propodure TEarm 1 WMDran Eilas (ver mag: TWMDran Eilas)	sICSV1 := TStringList.Create;
procedure reormit.wiwDropenes(var msg. rwiwDropenes);	slCSV2 := TStringlist Create:
var	
FileName : array[0255] of Char;	//ファイルのオーフン
sFileName: String;	slCSV1.LoadFromFile(sFileName);
sICSV1 : TStringList:	sgList.RowCount := sICSV1.Count; //行数取得
slCSV2 : TStringlist: ドロップされたファイルを	for i := 0 to sgList.RowCount - 1 do
	begin
	sICSV2.CommaText := sICSV1[i]; //一行分情報
	sgList.ColCount := slCSV2.Count;
	for j := 0 to sICSV2.Count −1 do
// ファイル名を取得	søl ist Cells[i i] := slCSV2[i]·
DragQueryFile (msg.Drop, 0 , FileName, SizeOf(FileName));	
sFileName := FileName;	end;
finally	slCSV2.Free;
//ドラッグ完了時、ハンドルの解放	slCSV1.Free;
DragFinish(Msg.Drop):	
end:	sgList.Col := 1;
	sgList.Row := 1;
	end;

ミガロ. テクニカルセミナー

■ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作



■ 100% IBM i Company 本文書の一部または全部の転載を禁止します。本文書の著作権は、著作者に帰属します。

ミガロ. テクニカルセミナー

まとめ

 60

ミガロ. テクニカルセミナー

■『帳票』開発ノウハウ公開

1)「RaveReports」による帳票開発手法

Delphi/400の標準レポートツールの使用手順

2)PDF出力技法

PowerPDFによるPDF作成手順

3)将来を見越した帳票開発

帳票出力仕様変更に強いシステム開発手順

■システム開発事例紹介

4)AS/400スプールとの連携

スプール取得APIの活用

5)ドラッグ&ドロップによる簡便なGUI操作

操作性を重視したアプリケーション構築